

集計結果がでました 令和2年国勢調査

国勢調査は、人口や世帯の実態を明らかにすることを目的として、日本に住むすべての人を対象にして実施されるとても重要な調査です。この調査結果は、少子高齢化対策や防災関連などの各種行政施策に活用されるだけでなく、さまざまな調査・研究の基礎資料としても活用されます。

今回、令和2年10月1日を基準日として行われた調査結果をお知らせします。

令和2年国勢調査結果

町の人口 **11,094 人**
(平成27年調査から **-900 人**)

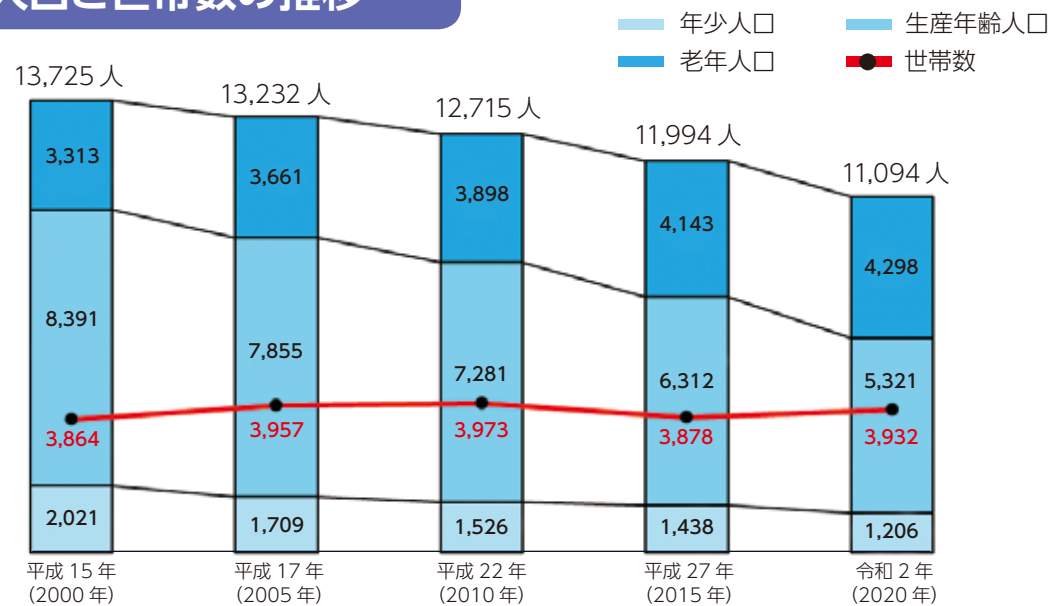
世帯数 **3,932 世帯**
(平成27年調査から **+54 世帯**)

※国勢調査は実際に町に居住している人口と世帯数を表すため、住民登録上の数値とは異なります。

5年前との比較



町の人口と世帯数の推移



※人口総数は年齢不詳の数を含むため、年齢別人口の合計とは一致しません。

人口減少をくい止めるために…

町の人口は、この20年で65歳以上が約3割増加した反面、65歳以下は約4割減少しており、人口減少・少子高齢化社会が進んでいることがわかります。

町は、令和2年に策定した「第2期氷川町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」において、2060年時点の人口を7,000人以上維持することを目標としており、地域産業振興事業や移住・定住促進事業、子育て支援事業など、さまざまな対策を行っています。

今回の調査結果をもとに、今後も皆さんが住み続けたいと思うまちづくりに取り組んでいきます。

【お問い合わせ先】企画財政課 企画係 52-5850

地域学校協働本部だより Vol.14

「氷川町地域学校協働本部」は、地域と学校が連携・協働して子どもたちの成長を支えるとともに、地域に開かれた教育課程支援などの活動を行っています。



11/18・12/14 イチゴの学習と花植え活動 ～竜北西部小3年生～

JAやつしろの古閑さんを講師にお迎えし、町の特産物「イチゴ」について、栽培の歴史や品種などの学習をしました。

今年は「和鹿島いちご栽培50周年」ということもあり、真剣なまなざしで聞いていました。

また12月14日には、ボランティアグループ「はなみずき」の人たちと一緒に、プランターにたくさんのパンジーを植えました。



11/24 氷川町の農業を学び、いざ体験活動へ！ ～氷川中～

農業体験活動の事前学習として、地域のみなさんをゲストティーチャーにお招きし、講話をしていただきました。

イチゴ農家の元田さん(有佐)には、「農業」は生きていく上で大切な仕事であることを学びました。JAやつしろの松田さん・西岡さんからは、町の人口に対しての農家の割合などを教えていただきました。最後に「親の学び」プログラムトレーナーの古閑さんに、「農業体験に向けて」というテーマで講話をしていただきました。(12/7・8に体験活動を行いました。)



12/8 ふるさとに伝わる製法で味噌づくりに挑戦 ～竜北西部小3年生～

国語「すがたを変える大豆」の発展学習として、下鹿島婦人会の指導のもと、「ふるさと氷川学」に伝わる製法で味噌づくりに挑戦しました。

栄養価の高い大豆がさまざまな料理で使われていることを学んだ後は、いよいよ味噌づくり。マッシャーなどを使って煮た大豆をつぶし、塩麹、大豆の煮汁を入れての味噌玉づくり、樽詰めと手際よく作りました。3月の味噌樽開きの時には、きっと安心・安全でおいしい味噌ができあがっていることでしょう。



12/14・15・21 おいしくできたよ、さつまいもの茶巾絞り ～竜北西部小・竜北東小～

各校の1・2年生が、自分たちで育て、収穫したサツマイモを使って「さつまいもの茶巾絞り」に挑戦しました。

湯がいたさつまいもを潰して、「おいしくなあれ」と言いながら、砂糖と塩を混ぜて味を整えました。次に、手のひらに広げたラップの上につぶしたさつまいもを乗せて形を作り、小さな手の中にかわいい花のような茶巾絞りが上手にできました。子どもたちは「わあー、お花みたい」と大喜びしていました。



【お問い合わせ先】生涯学習課 生涯学習係 ☎52-5860